

国語 ①	今週の学習	「カレーライス」	できたら チェック	
	今週の宿題	音読、日記、ドリルの王様④ p.7~p.8		
	来週の学習	「カレーライス」		
国語 ②	今週の学習	新出漢字「密、脳、呼、吸、存、刻、激」	できたら チェック	
	今週の宿題	漢字の学習上 p.11「密」から p.14「激」までしあげる 漢字の学習上 p.8 よんでみよう と p.9 熟語作り 来週の漢字テスト練習		
	来週の学習	新出漢字「映、簡、机、難、段、討、論」		
算数	今週の学習	円の面積2(教 p.21-p.34)、日本の中学入試問題にチャレンジ	できたら チェック	
	今週の宿題	ちびまる子ちゃんの算数ドリル⑨から⑫		
	来週の学習	文字と式(教 p.36-p.41)		
理科 (選択)	今週の学習	ものが燃えるときの空気の変化(教 p.14-p.18)	できたら チェック	
	今週の宿題	復習問題プリント1枚		
	来週の学習	ものが燃えるときの空気の変化(教 p.19-p.27)		
社会 (選択)	今週の学習	教科書上 p.12-19	できたら チェック	
	今週の宿題	教科書上 p.20-25 の音読と語句ノート		
	来週の学習	教科書上 p.20-25		
お知らせ		・来週(5月2日)は、避難訓練を行います。 ・宿題が終わったら、連絡表の「できたらチェック」にチェックをいれましょう。 この連絡表は来週(5月2日)、担任の先生に提出します。		
音読の宿題		おうちの人に聞いてもらって、読み終わったら書いてもらいましょう。1日1回を目標に！ 読む本は教科書で、今習っている所や次週から学習する所を読みましょう。		
	読んだところ	回数	最高！！◎ いいね！○ がんばろう△	おうち の人の サイン
			声の大きさ 読むはやさ 気持ち	
土	「カレーライス」①			
日	「カレーライス」②			
月	「カレーライス」③			
火	「カレーライス」④			
水	「カレーライス」⑤⑥			
木	「カレーライス」⑦			
金	「カレーライス」①-⑦			

土曜日は西大和の日。出来るだけ多くの日本語を、友だちや先生たちと使いましょう。

西大和学園補習校六年
漢字テスト

名前

① 密接な関係

② 首脳会議

③ 点呼を取る

④ 空気を吸う

⑤ 冷そう庫で保存する

⑥ 心一刻をひそめ

⑦ 激しく流れる川

⑧ 身近な存在

⑨ 地球の動き

⑩ 複数の参加者

5月2日テスト

西大和学園補習校六年
漢字テスト

名前

① みっせつなかんけい

② しゅのうかいぎ

③ てんこをとる

④ くうきをすう

⑤ れいそうこほぞんする

⑥ こころをひそめ

⑦ げんじつがながるがわ

⑧ みぢかたのそんざい

⑨ ちきゅうのうごき

⑩ ぶくたうのかんがし

国語 ②

西大和学園補習校 6年
漢字の意味

名前

① 密接な関係

② 首脳会議

③ 点呼を取る

④ 空気を吸う

⑤ 冷そう庫で保存する

⑥ 心に刻むひととき

⑦ 激しく流れる川

⑧ 身近な存在

⑨ 地球の動き

⑩ 複数の参加者

月 日 テスト

西大和学園補習校 6年
漢字の意味

名前

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

キエトポイント(短文で)

西大和学園補習校六年 漢字テスト 4/25	
名前	
①	ちちがとめるかじや
②	きけん なことう
③	だいにしせい
④	ほんほんぞ
⑤	せんいでばんにする
⑥	しりあけん
⑦	あしあしあしあしあし
⑧	しんきうを つくる
⑨	いじや はる
⑩	あだだめ なあす

西大和学園補習校六年 漢字テスト 4/25	
名前	
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

1 カレーライス

名前

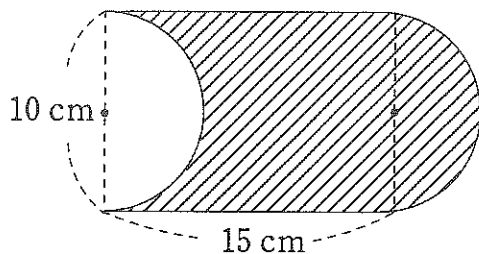
● 各場面で、「ぼく」が感じたり考えたりしていることを、読み取って簡単に書きましょう。また、そのきっかけとなる「お父さん」の言動も書きましょう。

場面	三日目				「ぼく」の心情	「お父さん」の言動
	夕食	夕方	学校	朝		
前日	絶対「ごめんなさい。」は言わない。					
一日目						
二日目						

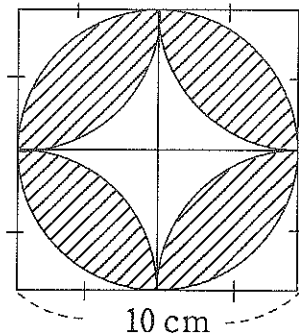
1

次の図は、長方形や正方形と円を組み合わせたものである。図の斜線部分の周の長さ
と面積を求めよ。ただし、円周率は3.1とする。

(1)



(2)



(1) 直線部分の長さは $15 \times 2 = 30$ (cm)

曲線部分の長さは、直径 10 cm の円周の長さに等しいから

$$10 \times 3.1 = 31 \text{ (cm)}$$

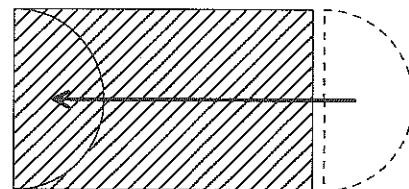
よって、求める周の長さは

$$30 + 31 = 61 \text{ (cm)}$$

また、右の図のように、半円部分を移動すると長方形ができる。


よって、求める面積は

$$10 \times 15 = 150 \text{ (cm}^2\text{)}$$



(2) 斜線部分の周の長さは、直径 10 cm の円の円周の 2 倍に等しいから

$$10 \times 3.1 \times 2 = 62 \text{ (cm)}$$

また、 の部分の面積は、1 辺 10 cm の正方形から半径 5 cm の円を除いた部分の面積に等しいから

$$\begin{aligned} 10 \times 10 - 5 \times 5 \times 3.1 &= 100 - 77.5 \\ &= 22.5 \text{ (cm}^2\text{)} \end{aligned}$$

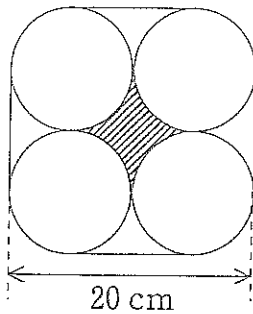
よって、求める面積は、半径 5 cm の円の面積からこの部分の面積を除いて

$$77.5 - 22.5 = 55 \text{ (cm}^2\text{)}$$

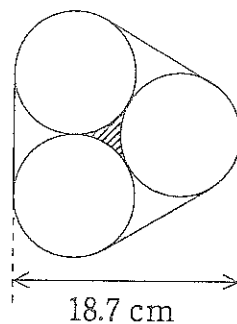
2

次の図は、ぴったり並べた空き缶をひもでしばったときの様子を表している。
 斜線部分の面積を求めよ。ただし、空き缶の底面は、すべて大きさの等しい円とする。
 また、円周率は3.14として計算せよ。

(1)



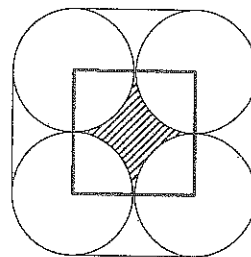
(2)



(1) 各円の中心を結ぶと正方形ができる。

求める面積は、(正方形の面積) - (半径5 cmの円の面積)
 となるから

$$(10 \times 10) - (5 \times 5 \times 3.14) = 100 - 78.5 \\ = 21.5 (\text{cm}^2)$$



(2) 各円の中心を結ぶと(正)三角形ができる。

求める面積は、(三角形の面積) - (半径5 cmの半円)となる。

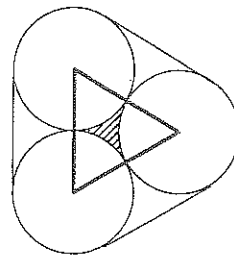
三角形の底辺は円の半径の2倍だから 10 cm

高さは、18.7 cm - (円の半径の2倍)だから

$$8.7 \text{ cm}$$

$$\text{よって } \left(\frac{1}{2} \times 10 \times 8.7 \right) - \left(5 \times 5 \times 3.14 \times \frac{1}{2} \right) = 43.5 - 39.25$$

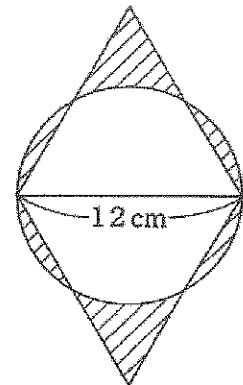
$$= 4.25 (\text{cm}^2)$$



3

図のように直径が12cmの円と1辺の長さが12cmの正三角形があります。

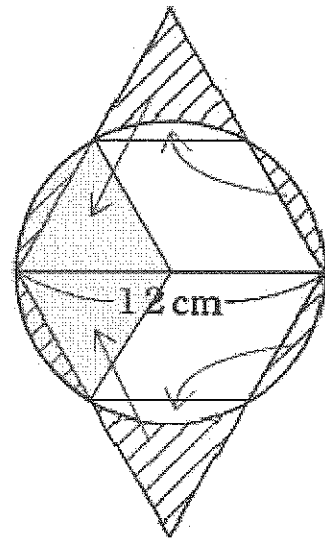
斜線部分の面積を求めなさい。円周率は3.14とします。



図のように等積移動すると、

中心角 $60^\circ \times 2 = 120^\circ$ の扇形の面積になります。

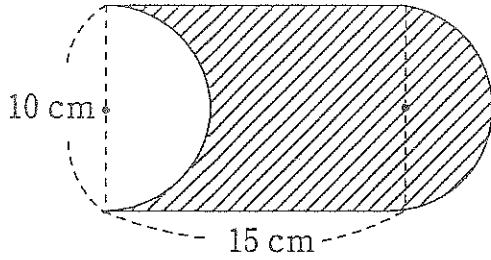
$$6 \times 6 \times 3.14 \times 120 / 360 = 37.68 \text{ cm}^2$$



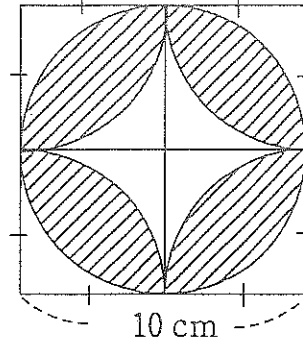
1

次の図は、長方形や正方形と円を組み合わせたものである。図の斜線部分の周の長さ
と面積を求めよ。ただし、円周率は3.1とする。

(1)



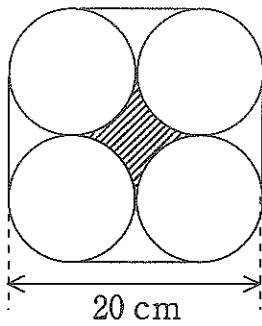
(2)



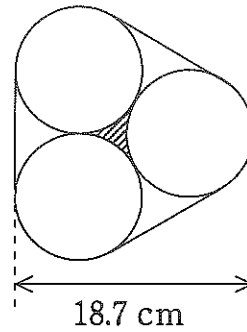
2

次の図は、ぴったり並べた空き缶をひもでしばったときの様子を表している。
 斜線部分の面積を求めよ。ただし、空き缶の底面は、すべて大きさの等しい円とする。
 また、円周率は3.14として計算せよ。

(1)



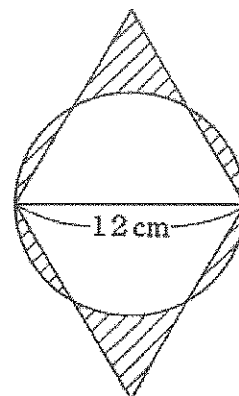
(2)



3

図のように直径が12 cmの円と1辺の長さが12 cmの正三角形があります。

斜線部分の面積を求めなさい。円周率は3.14とします。



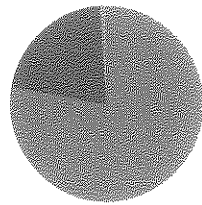
気体

わたしたちのまわりにある空気は酸素が約（ ）%、ちっ素が約（ ）%と

その他微量の気体からなる混合気体です。

その中の酸素は、わたしたちの呼吸にも使われています。

空気にふくまれる気体



■ ちっ素78%くらい

■ 酸素21%くらい

■ 二酸化炭素などその
他の気体

気体の性質 それぞれの気体の性質を調べよう。

ちっ素：

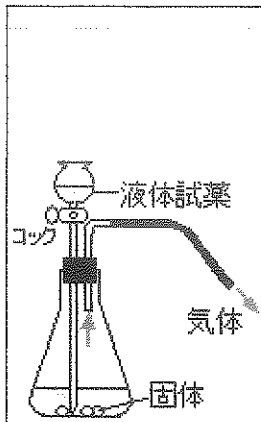
酸素：

二酸化炭素：

酸素には、ものを燃やすはたらきがある。

ちっ素や二酸化炭素には、ものを燃やすはたらきはない。

はっせい 気体を発生させる方法



水素・酸素・二酸化炭素などを発生させるときのよう、固体と液体の試薬を混ぜて気体をつくる場合、左図のような装置をよく使う。

- ・三角フラスコに固体の試薬を入れる
酸素を発生させるには二酸化マンガン
二酸化炭素を発生させるには石灰石（炭酸カルシウム）
- ・2穴のゴム栓でふたをする
- ・1穴を通したガラス管から液体試薬を少しずつ滴下して反応させる
酸素を発生させるにはうすい過酸化水素水
二酸化炭素を発生させるにはうすい塩酸
- ・発生した気体を、もう1穴を通したガラス管から採集する

酸素の発生 = 二酸化マンガン + うすい過酸化水素水

二酸化炭素の発生 = 石灰石 + うすい塩酸

液体を滴下するガラス管は長く、気体を通すガラス管は短い。

2本のガラス管の長さが違う理由を考えてみよう。

そのまま気体を発生させると、どうなってしまうのか想像してみるとよい。

<p>発生した気体が両方のガラス管から出てきてしまう</p>	<p>気体が発生し、フラスコ内の気圧があがり、液面を押すので、気体採集用のガラス管から液がもれ出し、液体滴下用のガラス管から気体が出てくる</p>	<p>気体が発生し、フラスコ内の気圧があがり、液面を押すので、両方のガラス管から液がもれ出す</p>

もし、液体滴下用のガラス管が短いと、高い位置から液体を滴下することになる。

この場合、まわりに試薬が飛び散り、効率よく反応させることができないということも考えられる。

フラスコの底のほうに液体滴下用のガラス管の先がくるようにする。

気体発生用のガラス管につないだゴム管が折れたりした場合のために、実験中はコックを開けておく。

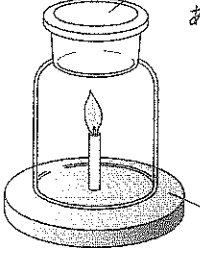
1

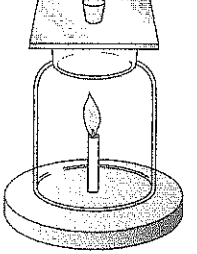
1 ものの燃え方
ものの燃え方と空気の流れ

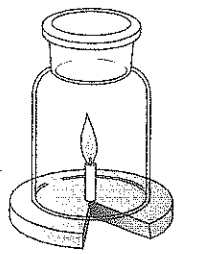
100点

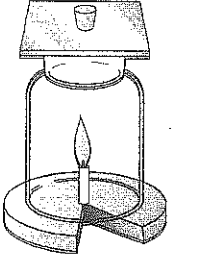
★ 下の図の①のように、ねん土に立てたろうそくに火をつけ、底のないびんを上からかぶせて燃え方を調べました。火が燃え続けるものには○、消えるものには×をつけましょう。

30点(1つ10点)

①  じゅうぶんな口の広さのあるびん
ねん土
燃え続ける。 ()

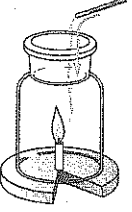
②  びんの口にふたをした。 ()

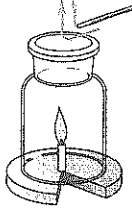
③  底のねん土にすきまをつくった。 ()

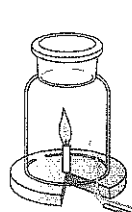
④  底にすきまがあるびんの口にふたをした。 ()

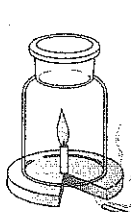
★ 下の図のせんこうのけむりの動きのうち正しい図の () 2つに○をつけましょう。

20点(1つ10点)

 ()

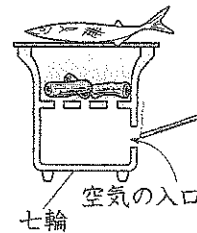
 ()

 ()

 ()

★ 次の問いに答えましょう。また、□にあてはまる言葉をかきましよう。 30点(1つ10点)

- (1) 七輪は、^{しちりん}空気の入口を設け、新しい□□を取り入れるくふうをしている。
- (2) 右の図の空気の入口をせばめると火はどうなりますか。
- (3) 右の図の空気の入口の近くにせんこうを近づけると、けむりは、どうなりますか。



- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____



()にあてはまる言葉をかこう。
※だいしなまとめにも点数があるよ。

なぞって覚えよう!

20点(なぞりは点数なし)

だいしなまとめ **ものが燃え続けるには、()が入れかわることが必要。容器の上と下にすきまがあると、ものが(燃え続ける)。**



- ★  ものは、新しい空気が入れば燃え続けます。
- ★  新しい空気は下から入って、上に出ていきます。

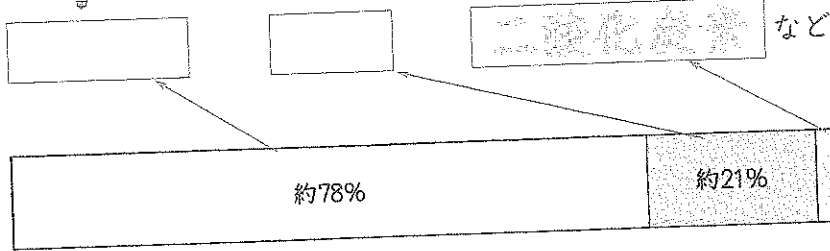
2

1 ものの燃え方
空気の成分

名前

100点

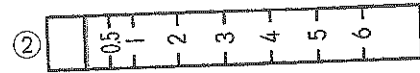
☆ 下のグラフは、空気の成分の割合を表しています。それぞれの気体の名前をかきましよう。
20点(1つ10点)



灰色の文字はなぞろう。
(点数はないよ。)



☆ 下の図は、教室の空気を、酸素用、二酸化炭素用の気体検知管で調べたものです。()
にあてはまる言葉や数をかきましよう。
30点(1つ10点)



- (1) 上の図の①は(), ②は()をそれぞれ気体検知管で調べたものである。
- (2) 気体検知管を使うと、酸素や二酸化炭素の割合がよくわかる。上の図から、空気中には酸素が()%あり、二酸化炭素はわずかしかないということがわかる。



☆ 次の問いに答えましよう。また、□にあてはまる言葉をかきましよう。 20点(1つ5点)

- (1) 空気中で、最も多くふくまれている気体は何ですか。 (1) _____
- (2) 空気中で、□□□□□はわずかしかふくまれない。 (2) _____
- (3) 空気中の気体の割合は、□□□□□を使って調べるこ (3) _____
とができる。 (4) _____
- (4) □□は、空気の約21%をしめている。

30点(1つ10点, なぞりは点数なし)

だいしなまとめ

空気は、ちっ素(), ()が混ざったものである。空気の成分は、()を使って調べられる。最も多い成分は、()である。

- ☆ 酸素、二酸化炭素、ちっ素の中から選びましよう。
- ☆ (2), (4), (2), (78)の中から選びましよう。